

# 大災害に備えたインフラの取組み ～過去を知り、万全な備えを～

令和5年10月19日（木）  
東京都市大学建築都市デザイン学部  
長岡 裕

# 想定されるリスク

## 地震

首都直下地震  
南海トラフ地震



## 風水害

台風・集中豪雨  
津波・高潮



## 火山噴火

富士山の噴火・降灰



過去を知り、教訓を生かし大災害に備える

# 過去を知り、大災害に備えるために

## 発災前：可能な限り被害を軽減するための取組

### 水道

- ・施設の耐震化
- ・バックアップ機能の強化
- ・浸水防止対策
- ・覆蓋化等による降灰対策

### 下水道

- ・目標整備水準のレベルアップによる浸水対策の強化
- ・管とマンホール接続部の耐震化
- ・液状化対策

### 電気

- ・耐震補強
- ・設備更新
- ・設備構成の多重化
- ・バックアップ機能の強化

### ガス

- ・高中圧導管は、阪神淡路大震災クラスを想定した設計・建設
- ・低圧導管は入取替による耐震化率向上

# 過去を知り、大災害に備えるために

## 発災後：復旧を迅速化するための取組

### 水道

- ・応急給水の強化(給水拠点の整備や応急給水活動区域の分画化)
- ・相互応援体制確立のため他事業者との連携強化

### 下水道

- ・大都市(20政令指定都市+東京都区部)において災害発生時の相互救援、協力、支援体制を確立

### 電気

- ・自衛隊との連携
- ・他電力・他企業との連携による復旧活動の円滑化

### ガス

- ・リアルタイム防災システム“SUPUREME”を導入し、供給停止による二次被害の防止
- ・警視庁等外部機関との連携

# インフラ間の連携の強化



災害時においても生命維持活動に  
欠かすことのできないインフラ機能を確保